

一般社団法人 全酪アカデミー

【事業概要】



1. 【目的】

国内の酪農生産現場では、後継者不足による酪農従事者の減少が続いており、今後の安定した生乳生産と供給の継続が懸念されている中、新規就農者、牧場従事者など酪農を支える人材の育成が急務となっております。

一般社団法人 全酪アカデミーは、全酪関連牧場や賛助会員傘下の契約農場等を活用し、飼養管理技術、酪農経営などの就農支援プログラムをもって、酪農就農や牧場従事等を志す担い手を育成し就農等に結び付けることを目的とします。

2. 【組織概要】

(1) 名称 「一般社団法人 全酪アカデミー」

(2) 事業所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号
酪農会館2階（全酪連総務部内）
電話 03-5931-8070

(3) 役員及び事務局長

理事長 熊谷 法夫（全国酪農業協同組合連合会 専務理事）
理事 佐藤 弘（全国酪農業協同組合連合会 常務理事）
理事 岡田 征雄（一般社団法人 全国酪農協会 常務理事）
事務局長 炬口 浩司（全国酪農業協同組合連合会 総務部 副部長）

(4) 構成

正会員：全国酪農業協同組合連合会及び一般社団法人 全国酪農協会
賛助会員：当法人の目的に賛同し入会した農業団体等
特別会員：当法人の目的に賛同し事業に協力する賛助会員以外の
入会した団体

(5) 組織機構

当法人に社員総会、監事、理事会、運営委員会、事務局を設置する。

(6) 事業年度

当法人の事業年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

3. 【事業内容】

(1) 新規就農希望者等の人材発掘に関する事業

- ① 賛助会員を介しての公募による人材発掘
- ② 行政、関係団体等からの情報による人材発掘
- ③ 全国酪農青年女性会議を通じた人材発掘
- ④ 新農業人フェア等の農業人材の募集イベントへの出展による人材発掘

(2) 新規就農希望者等の人材育成・確保に関する事業

- ① 教育カリキュラムに則った研修を通じた人材育成

- ・実践研修（初年度は全酪連関連牧場での研修、2年目以降は賛助会員所属の契約農場等での研修）
- ・幅広い知識の習得のための座学研修
- ②牧場従事希望者等への研修（復興牧場稼働以降）による人材育成
- (3) 契約農場での従事に関する事業
 - ①契約農場での実践的な研修
 - ②契約農場での農場運営に関する指導
- (4) 新規就農希望者の就農先へのマッチングに関する事業
 - ①賛助会員所属の契約農場、経営委譲希望農家の情報収集
 - ②関係団体との連携による経営委譲希望農家の情報収集
 - ③上記物件情報データの集約及び新規就農希望者への提供
- (5) 担い手確保のための受入体制の整備に関する事業
 - ①賛助会員への新規就農希望者の受け入れ体制に関する理解醸成
 - ②賛助会員への先進事例の情報提供（視察研修、賛助会員向け研修会）
- (6) 経営継承の手法及び経営計画作成の支援に関する事業
 - ・就農までの資金計画、事業計画の策定のサポート
（事業継承の手法、農地・建物・乳牛・機械等の資産取得に係わるサポート、施設・機械の補改修搾乳素牛導入、飼養管理技術等）
- (7) 賛助会員の新規就農事業に関する支援などの事業
 - ①賛助会員による新規就農事業立ち上げまでの支援
 - ②賛助会員の研修施設・整備に関わる補助事業等の情報収集及び、提案
 - ③賛助会員が行う新規就農事業への教育カリキュラムの提供
- (8) 酪農業に関する広報活動及び調査研究に関する事業
 - ①新農業人フェア等での農業未経験者への情報発信
 - ②賛助会員、新規就農希望者及び就農者、関係機関への定期的な情報発信
（賛助会員の取り組み事例、就農後の酪農経営等）

4. 【事業運営】

- (1) 業務
 - ①専任の事務局長（全酪連）を配置する。
 - ②全酪連と業務委託契約を締結し、全酪連関連部署にて業務を対応する。
 - ③研修生を当法人の従業員として雇用し、担い手としての育成研修を実施する。
- (2) 事業運営収入（第4事業年度）
 - ①正会員の負担金
全酪連 10,000 千円（不課税）、全国酪農協会 3,500 千円（不課税）
 - ②賛助会員の年会費 1 会員あたり年額 10 千円（不課税）
 - ③契約農場の給与負担金 日額 8 千円（不課税）
 - ④賛助会員の就農時負担金※1、1 組あたり 2,000 千円※2（不課税）
 - ※1 「就農時負担金」とは研修期間にかかる経費の一部を、新規就農先である賛助会員が負担するもの。
 - ※2 研修生の在籍期間によって異なる。